

議事録

会議名：第30回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2008年12月13日AM11時30分より
- 場所：広島県立総合体育館・地下1階・中会議室
- 構成員：34名
- 参加者：湯村正仁、小倉 肇、木原資裕、森 正典、榊 康守、福井悦郎、草間益良夫、山神眞一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、橋本紘樹、古家甲斐、藤井絵里子、吉原 唯、小原佐知子、磯中竜一、塩江康之、葛西辰伍、湯原将人、藤井友美子、河野正和、寺谷優香、宇都宮良泰、丹地亜子（以下委任状により出席と見做す）渡邊道德、藤原崇郎、黒田隼也、檜原健志、西内彬虎以上 34名、欠席者：0名
オブザーバーとして、近藤裕樹、西田悠作

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：葛西辰伍

E-mail：info@tyushi.net（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第29回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告（先輩・学生役員改選&準加盟についての報告）
- 議題3：先輩理事追加について
- 議題4：全日理事会・常任理事会報告・東西対抗選手選考について
- 議題5：平成21年度大会について（日程及び審判長）
- 議題6：リーゼミについて
- 議題7：平成21年度予算案
- 議題8：剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告
- 議題9：その他

1. 第29回理事会議事録確認

第29回理事会議事録を一部変更して異議なく承認した。

2. 幹事会報告

報告者：橋本紘樹

- (1) 前回の理事会で推薦された先輩役員全員に就任承諾を頂き、幹事会で承認されました。
- (2) 学生役員の改選があり、幹事長に広島大学の橋本紘樹が、その他別紙役員名簿のとおり決定した。
- (3) 松山東雲短期大学の準加盟が承認された。また、本日の幹事会で山口県立大学の準加盟が審議される予定。
- (4) 東亜大学が昨年の登録費未納が続いており、8月から連絡が取れない状態である。除名処分を検討したい。→除名処分予告文書を通達する。

3. 先輩理事の追加について

- (1) 先輩理事に会長より広島県の福井悦郎先輩が推薦され、承認された。

4. 全日理事会・常任理事会報告・東西対抗選手選考について

報告者：西田悠作

報告者：草間益良夫、木原資裕

- (1) ホームページについて
 - ・全日としてHPは作成せず、主管連盟がその大会の予定や結果を掲載する。
- (2) 全剣連の有功賞
 - ・今回、松山の青野晃治先輩の推薦したが、落選した。今後引き続き青野晃治先輩を推薦することを決定した。
- (3) 垂れ型目印について
 - ・第27回全日本女子優勝大会では垂れ型目印及び従来の背中目印を併用することが報告された。
- (4) オープン大会
 - ・平成21年12月19～20日、東北学生剣道連盟主管で開催する。
- (5) 全日大会（選手権、優勝、女子優勝、オープン大会）
 - ・平成21年度の大会は平成20年度と同じ主管とする。
 - ・平成22年度以降は、選手権大会（日本武道館で2日開催が可能になりそうである）及び優勝大会を関東と関西で隔年にて開催する。
 - ・女子優勝大会を愛知県武道館から春日井市総合体育館に変更する。

- ・オープン大会を毎年開催および4地域連盟（北信越・東北・北海道・中四国）で持ち回りすることが検討されている。

(6) 審判員割当数について

- ・全日財務委員会で余剰金が出ているので、審判員割当数の見直し及び審判員の地域会計負担分を減らし、全日会計負担分を増やすことを検討する。

(7) その他

- ・男女の全日本都道府県対抗剣道優勝大会に大学生の枠が設けられた。

5. 平成21年度大会について（日程及び審判長）

報告者：石井博貞

(1) 平成21年度大会予定

- ・平成21年3月7～9日（土～月）於：国立江田島青少年交流の家
平成20年度リーダーセミナー
- ・平成21年5月16日（土）於：高松市総合体育館 決定
第56回中四国学生剣道選手権大会
第41回中四国女子学生剣道選手権大会
第12回中四国学生剣道Challenge Cup
選手権時の理事会は開催しない方向で調整する。
- ・平成21年8月30日（日）於：岡山県総合グランド 桃太郎アリーナ 決定
第56回中四国学生剣道優勝大会
第36回中四国女子学生剣道優勝大会
- ・平成21年12月13日（日）於：広島県立総合体育館 武道場 未定
第29回中四国学生剣道新人戦

報告者：山神眞一

(2) 審判員について

- ・平成21年度審判長を選手権大会から新人戦までを大城戸 功先輩にお願いすることが決定した。
- ・審判長は一年を通してをお願いすることを原則とするが、都合がつかなくなった場合は代わって頂くことも可とする。
- ・審判員の資格要件については、今回の全日審判講習会を機会に来年度から五段以上とする。

また、大会要項の審判員構成で、卒業当時、全日本学生剣道連盟に加盟していた大学の卒業生で、中四国在住の人をもって構成することを原則とする。という文章の解釈で大学の卒業生とは「剣道部出身者」であり、審判員登録は申告制なのでその真偽については確かめられない。審判員を推薦する段階で理事の方に考慮してもらうこととする。

6. リーゼミについて

報告者：橋本紘樹

- ・平成21年3月7～9日（土～月）国立江田島青少年交流の家での開催する。
- ・講師を藤原崇郎先輩にお願いする予定。

7. 平成21年度予算案

報告者：石井博貞

- ・登録の傾向がここ数年微増であったが、本年の1年生が20名減っており、来年度は減る予想で予算を計画。
- ・リーゼミについて審判講習会の指導者を最低4名確保し、講師によっては、中四学連剣友会に援助を求め充実を図る。
- ・選手権大会および優勝大会の詳細が説明され、平成21年度予算案が承認された。

8. 剣友会（中四学連・剣友剣道大会）の報告

報告者：竹内善一

- ・11月30日米子で第10回中四学連剣友剣道大会が行われた。
- ・八段の先輩方等の模範試合も行われ充実した内容であった。

9. その他

- ・オープン大会の中四国で開催する是非について疑義がある。この大会は参加選手規模を考慮すると10試合場は必要で、中四国で開催可能な施設としては、広島グリーンアリーナおよび愛媛県武道館ぐらいである。様々な角度から2～3年を目処に検討することになった。

以上の議事を終え、本会は午後12時21分、議長が閉会を宣言して散会した。
上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成20年12月13日

中四国学生剣道連盟 第30回理事会

署名人 廣畑 栄三

署名人 葛西 辰伍



次回 MTG

日時：2009年8月29日

場所：岡山大学・大学会館・1F ホール